

お中 おた JA い 施設園芸収量確保へ 強日射・高温対策セミナー

【おおいた・中部】JAおおいた中部エリア営農部は2月下旬、強日射・高温対策セミナーに参加した。施設園芸での強日射・高温対策としてヒートポンプや屋根散水、塗布剤を活用した園芸施設内の高温抑制方法を中心に学んだ。

大分市野菜花き振興会の主催。県や市、大分市内の生産者ら35人が受講した。施設園芸設備の設計などでコンサルティング活動を行う(株)デルフィージャパの斉藤章さんが講師となった。

斉藤さんは「遮光と換気、気化熱を組み合わせた対策や、作物の能力を生かした対策が重要」と話した。

受講職員は「今夏も

猛暑が想定される。学んだ高温対策の戦略を生産者に周知し、夏場の収穫量確保と品質の良い青果物の出荷を心がけたい」と語った。